

大会における感染症対策



大会中全般

- ・大会参加者は常時マスクなどを着用する。
- ・コート内にいる選手は、熱中症対策のためマスクを着用しなくてもよい。
- ・審判は電子ホイッスルを使用する。また、線審はフラッグを使用せず、腕でサインを示す。
- ・自チームのものが他チームの人に触れないようにする。
- ・チーム内であっても、タオルや飲料容器、氷嚢などの共用は避ける。
- ・握手、ハイタッチなど、身体が他者と触れる行為は避ける。

試合前

- ・チームの全員が手指の消毒やせっけん等を用いた手洗いを行う。
- ・設備の消毒や準備のため、役員の指示があるまでコートに入らない。
- ・風邪症状がみられた場合は、試合に参加しない。

試合中

- ・選手は試合開始時の整列及び礼は行うが、ネット越しの握手はせず、ベンチへ直行する。
- ・主審と副審、監督、主将等は常時1メートル以上距離をとる。
- ・審判によるサービス順の確認後、コート内の選手は円陣を組んだり集まったりせずにプレーを開始する。
- ・タイムアウト時やコートチェンジ時に、ボールは表面が傷まない程度に消毒液で湿らせた布などで消毒する。
- ・選手やベンチスタッフは試合中も適宜手指の消毒を行う。

試合後

- ・チームの全員が手指の消毒やせっけん等を用いた手洗いを行う。
- ・使用した物の消毒を行う。